



## （環境・体制整備）

①お子さまの活動スペースとして事業所の広さは十分ですか？

はい。  
スペース、広さは十分確保でき、個室での対応も可能である。

②職員の数や専門性は適切ですか？

はい。  
利用人数に対して定められた人数配置を行っている。また、お子さまの状況により配置人数を増やして対応している。社会福祉士、介護福祉士、保育士、STなど専門職が勤務している。

③事業所内は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮がされていますか？

はい。  
玄関のスロープ、トイレの手すり、床面はフラットで段差がない。

## （業務改善）

④業務の改善のために目標を決め、その目標が達成できているか、事業所の職員の多くで振り返りをしていますか？（PDCAサイクル）

はい。  
より良い事業所となるように、その都度課題に対しての解決方法を職員間で話し合い、目標達成実現のために話し合い、振り返りを繰り返し行っている。

⑤保護者様向け評価表を活用し、保護者様の意向を把握し、業務の改善につなげていますか？

はい。  
保護者様から頂いたご意見に対して、出来る限りご意向に沿えるように努めている。

⑥この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開していますか？

はい。  
ホームページに公開している。

⑦第三者による外部評価を行い、その結果を業務の改善につなげていますか？

いいえ。  
第三者評価は受審できていないため、今後検討していく。

⑧職員の資質向上のために、研修の機会を確保していますか？

はい。  
外部研修への参加、事業所内研修を実施し、職員の資質向上に努めている。

## （適切な支援の提供）

⑨アセスメントを適切に行い、お子さまと保護者様の希望や課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成していますか？

はい。  
日常のお子さまの様子から見えてくる課題の分析だけでなく、面接や電話連絡を通して、保護者様のご意向、ご要望の聞き取りを行ったうえで、月1回担当者会議を実施し、職員間で周知したうえで個別支援計画を作成している。

⑩お子さまの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール※1を使用していますか？

はい。  
ILIS CLUB共通のアセスメントシートを使用している。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っていますか？

はい。

事業所会議や朝礼・終礼時にスタッフ間で話し合って立案し、実行している。

⑫活動プログラムを固定化しないよう工夫していますか？

はい。

お子さまによっては、プログラムが変わることで不安になってしまうことがあるが、出来るだけ固定化しないよう、積極的に新たなプログラムを取り入れるようにしている。

⑬平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援していますか？

はい。

平日は曜日によって児童の特性に応じたプログラム（例えば、パソコンタイピング、学習支援、制作など）を実施しており、休日には、リトミック、スタッフイベント、外出などを設定している。

⑭お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成していますか？

はい。

お子さま個人の希望や強みを活かしたものと、集団参加型の活動や療育プログラムの計画を個別支援計画に取り入れ作成している。

⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか？

はい。

一日の業務分担、役割を確認、周知し業務にあたっている。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか？

はい。

お子さまの様子で気になった点、支援の振り返りを行い、引継ぎ日誌に記入し職員間で周知している。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか？

はい。

お子さまの様子を必ず記録に残し、職員間で共有するとともに、改善点等はその都度話し合っている。

⑱定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要かどうかを判断していますか？

はい。

毎月モニタリングを実施しており、保護者様からのご意向や、ご要望に基づいて見直しが必要か判断している。

⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っていますか？

はい。

自立支援では買い物体験や公共交通機関での移動の機会を設けたり、創作活動においては季節に応じた制作の実施、また、地域の行事にも参加している。

#### （関係機関や保護者様との連携）

⑳障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのお子さまの状況に精通した最もふさわしい職員が参加していますか？

はい。

児童発達支援管理責任者や、スタッフリーダーが参加している。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っていますか？

はい。

基本的には保護者様を通して行っているが、必要に応じて電話連絡や訪問を行い情報共有している。

②医療ケアが必要なお子さまを受け入れる場合は、お子さまの主治医等と連絡体制を整えていますか？

いいえ。

現在対象のお子さまは通所されていない。

③就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等と、情報の共有をしていますか？

どちらともいえない。

必要である場合のみ行えているが、定期的には行えていない。

④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供していますか？

はい。

自発的にこちらから働きかけることは出来ていないが、要請があればカンファレンスを実施し、情報提供を行っている。

⑤児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか？

はい。

必要に応じて随時連携を図っており、助言を頂いたり、研修にも参加している。

⑥放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会がありますか？

いいえ。

記載されているような交流や機会は設定できていない。

⑦（地域自立支援）協議会等※2へ積極的に参加していますか？

はい。

参加している。

⑧日頃からお子さまの発達状況や課題を、事業所と保護者様とで伝え合い、共通の理解ができていますか？

はい。

連絡帳、口頭、写真を用いてデイサービスでの様子を共有しており、ご自宅、学校、他のデイサービスでの様子については、保護者様に確認しながら、共通した支援が出来るように心掛けている。

⑨保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して、育児に関する助言等の支援を行っていますか？

どちらともいえない。

相談があれば一緒に解決方法を考えて支援を行っているのが現状で、保護者様が求められているような助言ができるよう努める。

### （保護者様への説明責任等）

⑩運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか？

はい。

ご契約時だけでなく、必要に応じて説明を行っている。

⑪保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか？

どちらともいえない。

相談があれば一緒に解決方法を考えて支援を行っているのが現状で、保護者様が求められているような助言ができるよう努める。

⑫親の会の開催等により、保護者様同士の連携の支援をしていますか？

はい。

親の会は年3回実施しており、保護者様同士が関わりを持てるよう、内容も随時見直している。

③③ お子さまや保護者様からの相談や申し入れがある場合の対応の体制が整っていることを、お子さまや保護者様へ説明していますか？また、相談や申し入れがあった場合、迅速かつ適切な対応をしていますか？

はい。

苦情、要望、意見の申し立て先については保護者様に周知は出来ている。担当者が不在の場合は、相談苦情管理対応シートを用いて、確実な引継ぎ体制をとっている。必要に応じ、利用者様宅への訪問も行っている。

③④ 定期的におたよりやホームページ等で、活動内容・行事予定・連絡体制等の情報を発信していますか？

はい。

毎月のおたより、ブログを通してお子さまの様子、事業所の取り組みなどを発信している。

③⑤ 個人情報の取り扱いは適切ですか？

はい。

個人情報の関係書類は鍵付き書庫に保管し、お子さまの写真は管理者が管理する等取り扱いについては十分に気をつけている。また、写真を公開する場合、保護者様への確認、同意を必ず行っている。

③⑥ 障がいのあるお子さまや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか？

はい。

障がいのあるお子さまに対しては、言葉だけでなく、視覚から情報を得られるような絵カードを用いて意思疎通を図っていけるよう配慮している。

③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしていますか？

いいえ。

通所児童の守秘義務の観点から、行事に地域の方を招いたりすることは難しい。地域の方への挨拶、事業所周辺の清掃活動などを積極的に行い、地域に根付いた事業所を目指していきたい。

## （非常時等の対応）

③⑧ 緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知していますか？

どちらともいえない。

各種マニュアルは策定し、職員間では周知できているが、保護者様への周知とまでは至っていない。

③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っていますか？

はい。

月1回の避難訓練の実施、また、救命救急講習、不審者対応講習会にも参加している。

④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか？

はい。

年2回、必ず社内で行っている。

④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子さまや保護者様に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載していますか？

はい。

やむを得ず身体拘束をしなければいけない状況となる場合、お子さま、保護者様の了解のもと個別支援計画書に記載したうえでやっている。

④⑫ 食物アレルギーのあるお子さまについて、医師の指示書に基づく対応をしていますか？

はい。

実施している。

④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有していますか？

はい。

自事業所だけでなく、ILIS CLUB内での他の事業所のヒヤリハットも全て閲覧できるようファイリングしている。また、会議などでも対策について考える機会を設けている。

(注釈)

※1 「標準化されたアセスメントツール」

知的能力だけでなく、社会適応能力（対人関係や社会性等）の観点から、  
お子さまそれぞれの支援ニーズを客観的に把握するための基本的なツールのこと

※2 「（地域自立支援）協議会等」

障がい児相談支援事業所・学校・医療機関・専門機関・保育所

- ・児童発達支援事業所・他の放課後等デイサービス事業所・放課後児童クラブ
- ・自治体など